

令和2年度（2020年度）

# 学生募集要項

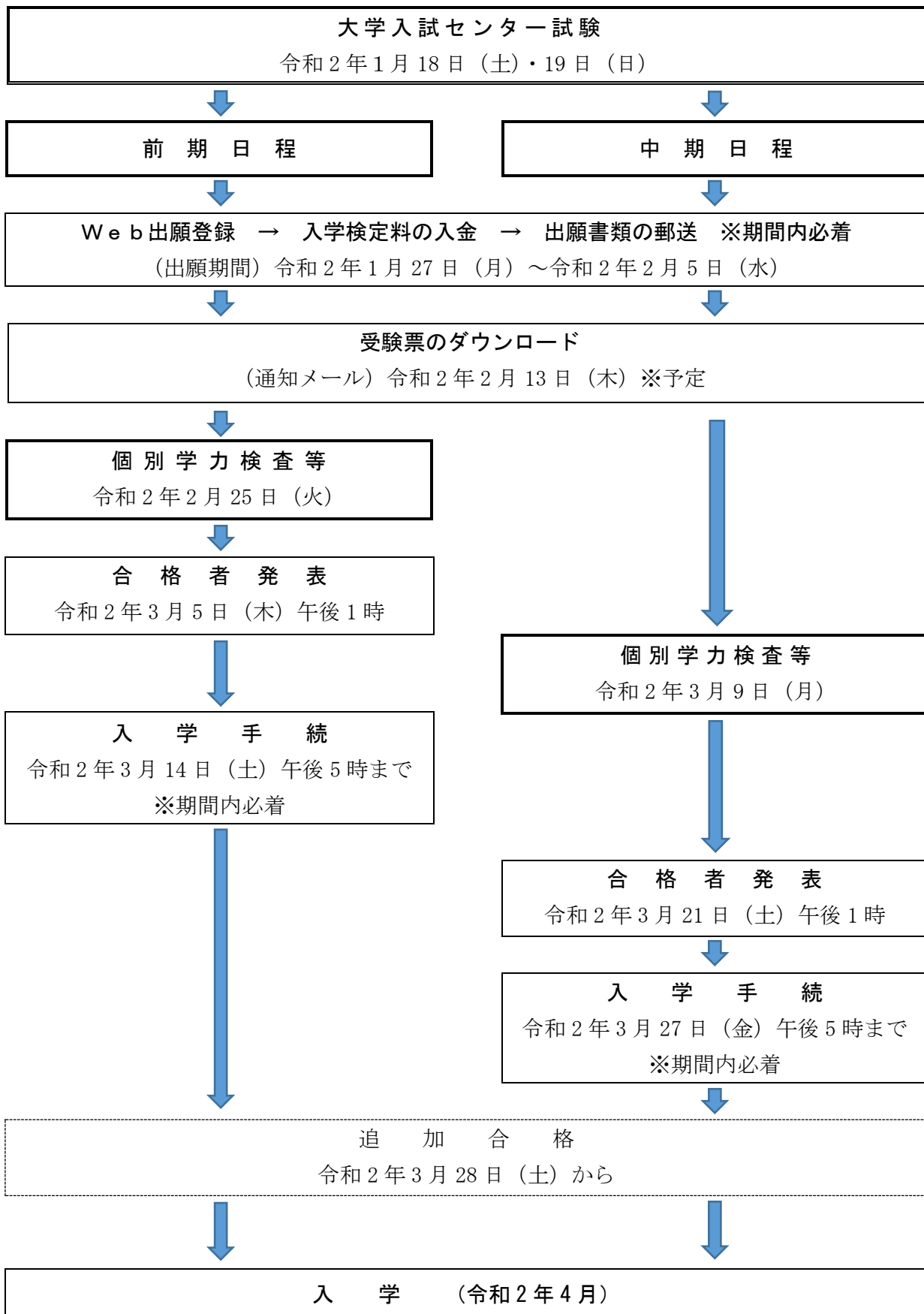


## 一般入試

（前期日程・中期日程）

公立小松大学

# 令和2年度（2020年度）入学者選抜試験日程（一般入試）



# 目 次

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
2. 募集人員	3
3. 出願資格	3
4. 試験実施方式等	4
5. 出願手続	5
6. 受験票のダウンロード	9
7. 受験及び就学上特別な配慮を必要とする場合の事前相談	11
8. 調査書が提出できない者の取扱い	13
9. 欠員補充の方法	14
10. 前期日程	15
(1) 実施教科・科目等	15
(2) 採点・評価基準（個別学力検査等）	20
(3) 試験期日・試験時間・試験会場	20
(4) 合格者発表	21
(5) 入学手続	21
(6) 留意事項	21
11. 中期日程	22
(1) 実施教科・科目等	22
(2) 採点・評価基準（個別学力検査等）	27
(3) 試験期日・試験時間・試験会場	27
(4) 合格者発表	28
(5) 入学手続	28
(6) 留意事項	28
12. 個人情報の取扱い	29
13. 入試情報の公表	29
14. 初年度学納金等(予定)	31
15. お問い合わせ	31
16. 試験会場等所在地略図	32

## 1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本学は、基本理念である「地域と世界で活躍する人間性豊かなグローバル人材を育成する大学」「持続的発展に向けて生産システムや人間の健康医療の科学技術を革新し、異文化交流を推進する大学」「地域に対して貢献し、地域によって支えられ、地方を共創する大学」に共感し、十分な基礎学力とともに、次のような資質を有する学生を求める。

- 学習意欲と探究心を持って自己実現を目指す人
- 豊かな教養を身につけ、地域社会と人類の発展に寄与しようと努力する人
- 社会が抱える問題について主体的に学び、その解決に取り組む意欲のある人

### 【生産システム科学部生産システム科学科】

本学科の教育理念及び教育目標に共感し、地域と世界の産業に貢献しようとする次のような学生を求める。

- 数学、物理など、ものづくりの仕組みを理解できる基礎学力を有し、機械、電気、電子、情報に関する知識や仕組みについて高い関心をもつ人
- サステイナブル（持続可能な）社会の実現を目指し、未来の生産システムの構築に強い意欲をもって取り組める人
- 豊かな教養と幅広い人間性を備え、地域社会の持続的発展に誇りと喜びを持って貢献できる人

### 【保健医療学部看護学科】

本学科の設置の目的、教育理念と教育目標に共感し、次に示した3つのすべてを併せ持つ学生を求める。

- 人々の営みや健康問題に関心を持ち、看護師または保健師として地域社会の医療・保健・福祉分野の発展に貢献しようと努力する人
- 相手の立場に立ち、思いやりをもって接することができる人
- 看護学として必要とされる専門知識・技術を学ぶための基礎学力を持った人

### 【保健医療学部臨床工学科】

本学科の教育理念及び教育目標に共感し、本学科を成長の場としたいと願う次のような学生を求める。

- 人の尊厳を重んじ、生命への高い関心と倫理観を有する人
- 人の命に対して真摯に向き合い、病を抱える人の回復のために自らの持つ力を最大限に発揮して取り組もうとする人
- 臨床工学を学ぶための理数系科目の基礎学力と、医療に関する高い学修意欲を有する人
- 医療専門職の一員として、関連する医療職種を理解し、チーム医療や地域医療に貢献のできる資質を有する人

## 【国際文化交流学部国際文化交流学科】

国際的視野から地域貢献を目指す人文社会学系の総合学部であり、本学科の教育理念及び教育目標に基づいて次のような学生を求める。

- 南加賀地域及び北陸の発展に強い意欲を有する人
- 自国の文化に誇りをもち、国際社会とその文化的多様性を探求することを通じて、南加賀地域をはじめとする地域社会の発展に貢献できる人
- 海外事情に関心があり、外国語能力をさらに向上させたい人
- 地域社会などの実態調査を通じて情報分析能力を身につけたい人
- 問題発見能力を鍛え、個性的な発想によって新しい価値を創造する意欲のある人

## 2. 募集人員

一般入試は、前期日程及び公立大学中期日程（以下、「中期日程」という）により、以下の通り実施します。

学部	学科	入試区分と募集人員	
		一般入試	
		前期日程	中期日程
生産システム科学部	生産システム科学科	40 人	20 人
保健医療学部	看護学科	30 人	8 人
	臨床工学科	17 人	5 人
	計	47 人	13 人
国際文化交流学部	国際文化交流学科	30 人	30 人
合 計		117 人	63 人
大学入試センター試験		課す	

(注) 推薦入試の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の合格者で補充します。

## 3. 出願資格

次の①から③のいずれかに該当し、令和 2 年度大学入試センター試験において、志願する学部学科が課す全ての教科・科目を受験した者

- ① 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）を卒業した者及び令和 2 年 3 月までに卒業見込みの者
- ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 2 年 3 月までに修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和 2 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者（次のアからカのいずれかに該当する者）

ア 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 2 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 2 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

ウ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であること―その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 2 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

- エ 文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号）
- オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和 2 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、令和 2 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）
- カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和 2 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者
- ※上記出願資格「カ」により出願しようとする者は、出願に先立ち「15. お問い合わせ」（31 ページ）をご照会ください。

## 4. 試験実施方式等

### （1）入学者選抜方法

入学者の選抜は、令和 2 年度大学入試センター試験、本学が行う個別学力検査等、及び調査書により総合的に判定します。

なお、大学入試センター試験の成績については、複数年度の利用をしませんので、令和 2 年度大学入試センター試験を必ず受験してください。

- ① 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目、個別学力検査等の詳細については、前期日程は、15～21 ページ、中期日程は 22～28 ページの各項目を参照してください。
- ② 大学入試センター試験で、志願する学部学科が課すすべての教科・科目（外国語の英語ではリスニングを含む）を受験しなければ、個別学力検査等を受験することはできません。  
また、個別学力検査等で、志願する学部学科が課す教科・科目のすべてを受験しなければ、失格となります。

### （2）併願

- ① 志願者は、本学で実施する前期日程と中期日程で同じ学部学科又は異なる学部学科に出願することができます。この場合、本学の前期日程に合格し、入学手続を行った者は、中期日程を受験してもその合格者とはなりません。
- ② 他の国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く）に合格し、入学手続を行った者は、個別学力検査等を受験しても合格者とはなりません。  
※詳細は、公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/>）でご確認ください。

### （3）大学入試センター試験受験票の取り扱いについて

大学入試センター試験受験票は、個別学力検査等の当日、必ず持参してください。また、入学手続の際にも必要となりますので、個別学力検査等の終了後も大切に保管してください。

## 5. 出願手続

出願手続は、インターネットを利用したWeb出願のみとなります。出願期間中にWeb出願ページにおいて志願者情報の登録と入学検定料の納入を済ませ、かつ、出願書類が本学に到着していなければなりません。

### (1) 出願期間

令和2年1月27日(月)～2月5日(水)午後5時 ※ 期間内必着

出願書類の提出は、郵送(速達書留郵便)のみとし、令和2年2月5日(水)午後5時までに必着とします。出願期間後に到着した出願書類のうち、令和2年2月4日(火)までの発信局日付印のある速達書留郵便に限り受理します。

### (2) 入学検定料およびその支払い方法

入学検定料は17,000円です。

入学検定料の支払方法は、出願情報登録の際に画面の指示に従い、次の①から③の中から選択してください。詳細は、Web出願システムページの「入学検定料の支払方法について」の項目をご確認ください。

#### ① コンビニエンスストア

出願情報の登録後、入学検定料のお支払いに必要な情報が表示されます。それらを控え、下記のコンビニエンスストアにてお支払いください。

<利用可能なコンビニエンスストア>

セブン-イレブン、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、セイコーマート

#### ② ペイジー対応銀行ATM

出願情報の登録後、入学検定料のお支払いに必要な情報が表示されます。それらを控え、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作の上、お支払いください。利用可能な銀行は、「支払い方法選択」画面でご確認ください。

#### ③ ネットバンキング

出願情報の登録後、利用画面からそのまま各金融機関のページへ移動しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。なお、利用する場合には、決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要となります。

#### ※注意事項

ア クレジットカードは使用できません。

イ 入試検定料のお支払いにかかる手数料等は志願者負担となります。

ウ 入試検定料の領収書・利用明細書等は、個別学力検査等が終了するまで大切に保管しておいてください。

#### 【入学検定料の返還について】

一旦受領した入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還には応じません。

ア 入学検定料を支払ったが、本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合は、17,000円を返還します。



イ 入学検定料を二重に払い込んだ場合は、17,000 円を返還します。

ウ 入学検定料を 17,000 円よりも多く払い込んだ場合は、多く払い込んだ額を返還します。

エ 出願受付後、本学が課す大学入試センター試験受験科目の不足等により出願無資格者であることが判明した場合は、13,000 円を返還します。

※上記「ア」～「エ」に該当する場合は、「15. お問い合わせ」(31 ページ)に記載された連絡先に、令和 2 年 2 月 28 日(金)までにご連絡ください。本学から該当者に入学料返還手続き書類を送付します。なお、領収書は、返還手続の際に必要なになりますので、各自で大切に保管してください。

### (3) 出願方法・出願書類等

Web出願の流れは、以下のとおりです。

出願の流れ	摘 要
【STEP1】 事前準備	<p>① インターネットが利用できる環境の準備 学校や図書館等の自宅外のパソコンやスマートフォンからも出願が可能です。</p> <p>② プリンタの準備 Web出願システムの登録完了画面から、ダウンロードできる「入学志願書」「送付用宛名シート」等を印刷する際に必要です。</p> <p>③ 必要書類の準備 「5.(4) 出願に必要な書類等」(8ページ)をご参照ください。</p> <p>④ 角2封筒の準備 出願書類送付用の封筒に使用します。</p>
【STEP2】 Web出願サイトにアクセス	<p><b>Web出願ページ</b> <a href="http://e-apply.jp/e/komatsu-u/">http://e-apply.jp/e/komatsu-u/</a></p> <p>※前期日程と中期日程の両方を出願する場合は、それぞれの試験日程に出願登録する必要があります。</p>
【STEP3】 出願情報等の登録	<p>画面の案内に従い、必要な情報を登録します。最後に、登録内容に誤りがないか必ずご確認ください。</p>
【STEP4】 入学検定料の支払い	<p>画面の案内に従い、入学検定料の支払い &lt;支払い方法&gt; コンビニエンスストア、ペイジー対応銀行ATM、ネットバンキング ※詳細は、「5.(2) 入学検定料およびその支払い方法」(5~6ページ)をご参照ください。</p>
【STEP5】 送付用宛名シート及び出願書類の印刷	<p>入学検定料の入金の確認後に、出願登録完了画面から以下の3つの出願に必要な書類が印刷可能となります。</p> <p>5-1. 入学志願書      5-2. 写真票 5-3. 送付用宛名シート 1枚 ※市販の角2封筒に使用</p>
【STEP6】 出願書類の郵送	<p>まず、出願書類封入確認リストで漏れがないかチェックしてください。 その後、表面に送付用宛名シートを貼り付けた角2封筒に、出願書類を一括封入し、期限内に到着するように速達書留郵便で本学まで郵送してください。</p>

※「【STEP3】出願内容の登録」後は、登録内容の変更はできませんので、注意してください。  
誤った内容を登録した場合は、「【STEP4】入学検定料の支払い」に進まず、あらためて「【STEP2】Web出願サイトにアクセス」からやり直してください。

#### (4) 出願に必要な書類等

志願者は、以下の出願書類（1～4 及び必要に応じて提出する書類）を一括して出願期間内に以下の提出先へ速達書留郵便で郵送してください。 ※本学窓口では受理いたしません。

なお、出願書類に不備がある場合は、受理しないことがありますので、郵送前に必ずご確認ください。また、出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても、入学を取り消すことがありますのでご注意ください。

【提出先】 公立小松大学 学生課入試係 （中央キャンパス）

〒923-0921 石川県小松市土居原町 10 番地 10

※郵送された出願書類について、本学への到着の有無の問い合わせには応じません。日本郵便Webサイトの「郵便追跡サービス」により志願者本人がご確認ください。

また、出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更、及び入学検定料の返還（「5.（2）入学検定料およびその支払い方法」（5～6 ページ）に記載した場合は除く）には応じません。

出願書類		摘 要
1	入学志願書	入学検定料の支払い後、A4判の書類の印刷が可能となります。 前期日程は「令和2センター試験成績請求票 <sup>前</sup> 国公立前期日程用」（再交付を受けた場合は再交付された成績請求票）を、中期日程は「令和2センター試験成績請求票 <sup>公中</sup> 公立大学中期日程用」（再交付を受けた場合は再交付された成績請求票）を「入学志願書」の所定欄（前期日程と中期日程の両方を出願する場合は、それぞれ）にのり付けしてください。
2	写真票	入学検定料の支払い後、A4判の書類の印刷が可能となります。 出願登録時に、出願前3か月以内に、単身、無帽、無背景、および上半身正面で撮影した、鮮明な受験者本人画像をアップロードしてください。補正等を行った画像は使用しないでください。
3	調査書	文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 ただし、指導要録等の保存期間が経過して調査書が得られない者、高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定試験を含む）の合格者、その他調査書を得られない者は「8. 調査書が提出できない者の取扱い」（13 ページ）を参照してください。 なお、調査書の氏名と現在の氏名が相違している場合、改姓、改名した旨を記した書面（戸籍抄本等）をご提出ください。
4	角2封筒 (1枚)	出願書類の送付に必要となります。出願者が準備し、送付用宛名シートを貼り付け郵送ください。

## 6. 受験票のダウンロード

令和2年度入試より、一般入試の受験票はWeb出願システムを利用して志願者本人がダウンロードし、印刷する方式に変更となりました。 ※本学から受験票の郵送は行いません。

### (1) 受験票ダウンロード通知メール

Web出願時に登録したメールアドレスへ「受験票ダウンロード通知メール」を送信します。通知後に、Web出願サイトからの受験票および受験上の注意等のダウンロードが可能になります。志願者本人が印刷し、個別学力検査等の当日にご持参ください。

#### 【通知メール送信日（予定）】

令和2年2月13日（木） ※前期日程、中期日程ともに同日。

なお、通知メールが令和2年2月13日（木）までに届かない場合であっても、出願が完了していれば、令和2年2月13日（木）以降に受験票をダウンロードすることができます。なお、ダウンロードした受験票の記載内容に誤りがある場合は、学生課入試係までご連絡ください。

### (2) 受験票等の保管

受験票は、個別学力検査等の受験及び入試の成績開示請求（29 ページ）の際に必要となりますので、大切に保管してください。

### (3) お問い合わせ

ご不明な点がある場合は、平日（月曜日から金曜日、ただし祝日を除く）の午前9時から午後5時の間に下記までご連絡ください。

公立小松大学 学生課入試係 TEL 0761-23-6600

# Web出願の手順

Web出願サイトに登録しただけ(STEP3まで)では出願手続きは完了していません。  
出願期間までに、出願書類が大学に到着(STEP5まで)して初めて出願完了となりますので余裕をもって準備してください。  
※ご利用にあたってはPCメールアドレス・パソコン(インターネット接続済)・プリンター(A4出力)が必要です。



## STEP 1 Web出願サイトへアクセス

### Web出願サイト

▶ <https://e-apply.jp/n/komatsu-u/> または、

大学ホームページ

▶ <https://www.komatsu-u.ac.jp/> からアクセス

※24時間出願登録が可能です。ただし入試出願期間の最終日の登録受付は午後5時までです。

## STEP 2 出願内容の登録

- ①画面の手順や留意事項を必ず確認してください。
- ②入学検定料のお支払方法を選択してください。
- ③画面に従って出願内容の選択、必要事項を入力してください。  
お支払いに必要な情報(お客様番号、確認番号、お支払い期限など)を控えてください。

## STEP 3 入学検定料のお支払い

コンビニ、またはネットバンキングで入学検定料をお支払いください。

※別途手数料がかかります。

※インターネット上でのクレジットカード決済はできません。

## STEP 4 各帳票をプリンターにてA4サイズで印刷

入学検定料のお支払い完了後に受信する「出願サービス 支払完了のご案内」メールに記載されたURLにアクセスして「入学志願書」等を印刷してください。あわせて郵送用の封筒に貼り付ける「返信用宛名シート」も印刷してください。

※ページの拡大/縮小は「なし」で印刷してください。

※「自動回転と中央配置」にチェックを入れて印刷してください。

## STEP 5 書類の提出

「入学志願書」および他の必要書類(調査書等)を同封し、出願期間内に必着となるよう郵送(速達書留郵便)してください。

※出願封筒は市販の角2封筒に、印刷した「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けて使用してください。

※窓口による受付は行いません。

以上で出願手続きは完了です。

### 【受験票のダウンロードについて】

- 受験票のダウンロード通知メールが届きましたら、受験票のダウンロードが可能となります。必ず本人が印刷し、試験当日に持参してください。  
なお、通知メールが届かない場合であっても、出願が完了していれば募集要項に記載の日程から受験票をダウンロードすることができます。

### 【備考】

- 出願内容の登録完了後の変更は一切できませんので、入力した内容を十分に確認してください。
- 入学検定料の支払い前に出願内容の誤りに気付いた場合は、入学検定料を納入せずにもう一度STEP2出願内容の登録からやり直してください。

## 7. 受験及び就学上特別な配慮を必要とする場合の事前相談

本学に入学を志願する者で、身体に障がい等があり、受験及び就学上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に本学に事前相談書等を提出し、ご相談ください。なお、様式は次ページのものをご使用ください。

### (1) 相談締切日

令和2年1月10日(金)

### (2) 提出書類の準備と提出

本学所定の事前相談書に必要事項記載のうえ、相談締切日までに下記の「相談先および提出先」まで提出してください。

### (3) これまでに行った対応の実績

別室での受験、試験時間の延長、トイレに近い試験室での受験、持参した杖の使用許可、補聴器の使用許可

### (4) 相談先および提出先

公立小松大学 学生課入試係

〒923-0921 石川県小松市土居原町10番地10

TEL 0761-23-6600 E-mail nyushi@komatsu-u.ac.jp

※対応可能日時：月曜日から金曜日（祝日を除く）の午前9時から午後5時

## 事前相談書

令和 年 月 日 提出

ふりがな		生年月日	性別
志願者氏名		年 月 日	男・女
現住所	〒		
電話番号	( ) -		
出身学校名	(学校名)		
	(卒業年次) 年 月 卒業見込 ・ 卒業		
志願する学部学科	学部 学科		
入試区分 ※いずれかに○	・地域推薦入試（市内） ・地域推薦入試（県内） ・一般推薦入試 ・社会人入試 ・一般入試（前期日程・中期日程）		
障がいの種類、程度			
受験・就学において 配慮を希望する事項			
在学（出身）学校で 配慮されていた事項			
日常生活の状況			

### 【添付する書類】

- ・ 医師の診断書（提出日から3か月以内に発行のもの）
- ・ 大学入試センター試験の「受験上の配慮事項決定通知書」の写し（通知を受けている者のみ）
- ・ 障がい者手帳をお持ちの場合は、その写し

## 8. 調査書が提出できない者の取扱い

### (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）を卒業した者

指導要録等の保存期間が経過した者、又は廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、次の書類をご提出ください。

① 卒業後5年を経過した場合

卒業証明書及び各教科・科目の修得単位を証明する書類（単位修得証明書等）

② 卒業後20年を経過した場合

卒業証明書、成績通信簿（原本）、その他志願者が提出可能な修得単位数が分かる書類。これらの書類が提出できない場合は、出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成した調査書を発行できない旨の証明書

③ 廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合

卒業証明書、成績通信簿（原本）、その他志願者が提出可能な修得単位数が分かる書類及び出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成した調査書を発行できない旨の証明書

※成績通信簿（原本）を提出する場合は、後日お返しします。

### (2) その他の者

① 高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定試験を含む）の合格者は、合格した科目の成績が記載された合格成績証明書を調査書に代えてください。なお、高等学校等において科目を修得したことにより、高等学校卒業程度認定の受験科目（大学入学資格検定試験の科目を含む）を一部免除された場合は、その免除された科目の高等学校等の成績証明書又は調査書（出身高等学校長が作成し、厳封したもの）を併せて提出してください。

② 高等専門学校第3学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者は、出身学校において文部科学省の定めた調査書に準じて作成したものをもって調査書に代えてください。

③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものについて、教育課程等を修了（見込み）の者にあつては当該課程の修了（見込み）を証明する書類及び成績証明書を、検定等に合格した者にあつては合格証書の写し及び成績証明書を提出してください。

④ 国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、フランス共和国のバカロレア資格取得者は、資格証書の写し及び成績証明書を提出してください。

⑤ 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者は、修了（見込み）証明書及び成績証明書を提出してください。

⑥ 本学の個別の入学資格審査を受けて認定された者は、「公立小松大学入学資格認定書」の写しを提出してください。



## 9. 欠員補充の方法

### (1) 追加合格

入学手続の結果、欠員が生じた場合は、3月28日(土)以降に「追加合格」を通知することがあります。

追加合格の通知は、入学志願書の「通知等を受ける場所」に記載の自宅または携帯の電話番号へ直接連絡し、本人に入学意思の確認を行います。不在にする場合も必ず連絡がとれるようにしておいてください。なお、合格候補者への最初の電話から、概ね60分を経過しても直接本人と連絡が取れない場合は合格とせず、次の合格候補者に連絡を取ります。

また、他の国公立大学(独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除く)に入学手続を完了した者は、それを取り消して、本学の入学手続を行うことはできません。

### (2) 欠員補充のための第2次募集

欠員がある場合は、欠員補充のための第2次募集を行うことがあります。実施する場合は、本学ホームページ(<https://www.komatsu-u.ac.jp/>)に掲載するとともに報道機関を通じて発表します。

## 10. 前期日程

### (1) 実施教科・科目等

- ① 大学入試センター試験の「数学」のうち、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む）においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- ② 個別学力検査等の「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「物理基礎・物理」の出題範囲については、次のとおりです。
  - 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」・・・それぞれの全範囲を出題範囲とします。
  - 「数学B」・・・「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
  - 「物理基礎・物理」・・・「物理基礎」及び「物理」の全範囲を出題範囲とします。
- ③ 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等については以下の通りです。
  - ア 大学入試センター試験で、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の成績を利用します。
    - ただし、『「地歴」「公民」』の受験科目を1科目と指定した学科において2科目受験している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。また、「理科」の受験科目を1科目と指定した学科において2科目受験している場合は、生産システム科学科を除き、受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。
    - ※大学入試センター試験の『「地歴」「公民」』及び「理科②」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。
  - イ 大学入試センター試験で「数学」2科目又は「理科」2科目を課す学科については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。
  - ウ 大学入試センター試験の『外国語「英語」』は、筆記試験（素点200点満点）とリスニングテスト（素点50点満点）の合計点（250点）を利用します。
- ④ 大学入試センター試験で、志願する学科が課すすべての教科・科目等を受験しなければ、個別学力検査等を受験することはできません。
  - また、個別学力検査等で、志願する学科が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格となります。
- ⑤ 各学科の教科・科目名が表示してある表の下の「大学入試センター試験の注意事項」も必ずご参照ください。

【生産システム科学部 生産システム科学科】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

試験区分		教科	科目名等	配点	合計	
前期 日程	〔5教科6科目〕 大学入試センター試験	国語	「国語」	100	750	
		地歴 公民	【1科目を選択】 「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、 「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」	50		
		数学	「数学Ⅰ・数学A」	200		
			【1科目を選択】 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」	(100×2)		
		理科	「物理」	200		
	外国語	「英語」（リスニングを含む）	200			
	個別学力 検査等	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B	100	200	
		理科	物理基礎・物理	100		
	合 計					950

大学入試センター試験の注意事項

1. 「国語」は、素点200点満点を傾斜配点で100点とします。
2. 『「地歴」「公民」』で2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を利用します。  
また、素点100点満点を傾斜配点で50点とします。
3. 「理科」は、「物理」の成績を利用するものとし、素点100点満点を傾斜配点で200点とします。
4. 『外国語「英語」』は、筆記試験（素点200点満点）とリスニングテスト（素点50点満点）の合計点（250点）を傾斜配点で200点とします。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者については、筆記試験の得点（200点）をそのまま利用します。

【保健医療学部 看護学科】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

試験区分		教科	科目名等	配点	合計
前期日程	「5教科6科目」又は「5教科7科目」 大学入試センター試験	国語	「国語」	150	650
		地歴 公民	【1科目を選択】 「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、 「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」	100	
		数学	【1科目を選択】 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」	100	
			【1科目を選択】 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」	(50×2)	
		理科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 科目又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目	100	
	外国語	「英語」(リスニングを含む)	200		
個別学力 検査等	その他	「面接(集団)」 多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評定します。	100	100	
合 計					750

大学入試センター試験の注意事項

1. 「国語」は、素点200点満点を傾斜配点で150点とします。
2. 『「地歴」「公民」』で2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を利用します。
3. 「数学」は、2科目とも素点100点満点を傾斜配点で50点とし、合わせて100点とします。
4. 「理科」で基礎を付した科目2科目の合計、又は基礎を付さない科目(「理科②」で2科目受験している場合は第1解答科目)のうち、高得点の成績を利用します。
5. 『外国語「英語」』は、筆記試験(素点200点満点)とリスニングテスト(素点50点満点)の合計点(250点)を傾斜配点で200点とします。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者については、筆記試験の得点(200点)をそのまま利用します。

【保健医療学部 臨床工学科】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

試験区分	教科	科目名等	配点	合計	
前期日程	〔5教科7科目〕 大学入試センター試験	国語	「国語」	100	800
		地歴 公民	【1科目を選択】 「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、 「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」	100	
		数学	【1科目を選択】 「数学I」、「数学I・数学A」	200	
			【1科目を選択】 「数学II」、「数学II・数学B」	(100×2)	
		理科	【2科目を選択】 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	200 (100×2)	
		外国語	「英語」（リスニングを含む）	200	
	個別学力 検査等	その他	「小論文」 人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について、論述 することを求めます。	100	200
		その他	「面接（集団）」 多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評定します。	100	
	合 計				1,000

大学入試センター試験の注意事項

1. 「国語」は、素点200点満点を傾斜配点で100点とします。
2. 『「地歴」「公民」』で2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を利用します。
3. 『外国語「英語」』は、筆記試験（素点200点満点）とリスニングテスト（素点50点満点）の合計点（250点）を傾斜配点で200点とします。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者については、筆記試験の得点（200点）をそのまま利用します。

【国際文化交流学部 国際文化交流学科】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

試験区分	教科	科目名等	配点	合計	
前期日程	大学入試センター試験 「4教科5科目」、「4教科6科目」、 「5教科5科目」又は「5教科6科目」	国語	「国語」	200	750
	地歴 公民	【2科目を選択】 「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、 「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 ただし、「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、 「地理A」、「地理B」のうち1科目以上を含むこと。	200 (100×2)		
	数学 理科	【1科目を選択】 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学ⅡB」、「物理」 「化学」、「生物」、「地学」、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基 礎」、「地学基礎」 ただし、基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基 礎」、「地学基礎」）については、2科目の受験で1科目とみなす。	100		
	外国語	「英語」（リスニングを含む）	250		
	個別学力 検査等	その他 「小論文」 社会、歴史、文化、言葉等に関する英語と日本語の文章を一つ ずつ提示し、それぞれについて文章理解に基づき日本語で論述 をさせます。	250	250	
合 計				1,000	

大学入試センター試験の注意事項

1. 「数学」、「理科」において、「理科」で基礎を付した科目2科目の合計、又は基礎を付さない科目（「理科②」で2科目受験している場合は第1解答科目）及び「数学」のうち、高得点の成績を利用します。
2. 「地歴」「公民」において、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。同一名称を含む科目の組合せとは、「世界史Aと世界史B」、「日本史Aと日本史B」、「地理Aと地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」、「政治・経済」と「倫理、政治・経済」の組合せを指します。
3. 『外国語「英語」』において、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者については、筆記試験の得点（200点）を傾斜配点で250点とします。

## (2) 採点・評価基準（個別学力検査等）

個別学力検査等では、次の点について評価を行います。

学部	学科	教科・科目等	留意している点
生産システム科学部	生産システム科学科	数 学	問題についての理解力と正解に至るまでの考え方およびそれを表現する力を評価します。
		物 理	物理の基本概念の理解度と応用力を評価します。
保健医療学部	看護学科	面 接	医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価します。
	臨床工学科	小論文	論理的思考力と文章による表現力を評価します。
		面 接	思考力、判断力、表現力、協調性、積極性などを総合的に評価します。
国際文化交流学部	国際文化交流学科	小論文	英語・日本語の理解力、日本語の表現力、論理的思考力等を総合的に判断します。

## (3) 試験期日・試験時間・試験会場

### ①試験期日

令和2年2月25日（火）

### ②試験時間

学部	学科	教科・科目等	試験時間
生産システム科学部	生産システム科学科	数 学	10：00～11：30
		物 理	13：00～14：40
保健医療学部	看護学科	面 接	9：00～
	臨床工学科	小論文	10：00～11：00
		面 接	12：30～
国際文化交流学部	国際文化交流学科	小論文	9：30～11：30

### ③試験会場

ア 試験会場は、次のとおり予定しています。ただし、志願者数によっては試験会場を変更することがあります。その場合は、ホームページ等で変更内容を通知します。

学部	学科	試験会場（予定）
生産システム科学部	生産システム科学科	栗津キャンパス
保健医療学部	看護学科	末広キャンパス
	臨床工学科	栗津キャンパス
国際文化交流学部	国際文化交流学科	中央キャンパス

イ 試験会場の下見への対応として、令和2年2月24日（月）午後1時以降に試験会場入口に試験室案内等を掲示します。

ウ 風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、時間に十分余裕をもって試験会場にお越しください。

#### （４）合格者発表

前期日程合格者の受験番号を次のとおり発表します。なお、合格者には、合格通知書と入学手続要項を送付します。

【発表日時】 令和2年3月5日（木）午後1時（予定）

【発表場所】 中央キャンパス 石川県小松市土居原町10番地10

本学ホームページ <https://www.komatsu-u.ac.jp/>

※可否に関するお問い合わせには応じません。

#### （５）入学手続

入学手続要項に従って、各種、必要書類をご提出ください。

入学手続期間は以下のとおりです。

令和2年3月5日（木）～3月14日（土）午後5時まで ※期間内必着

※持込みの場合は、令和2年3月14日（土）午前9時～午後5時のみ対応

#### （６）留意事項

- ① 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取扱います。
- ② 「前期日程」に合格し、令和2年3月14日（土）までに入学手続を行った者は、「中期日程」を受験してもその合格者とはなりません。また、一つの国公立大学に入学手続を行った者は、それ以降にこれを取り消して他の国公立大学に入学手続をすることはできません。追加合格者についても同様です。
- ③ 入学時に必要な経費等は、「14. 初年度学納金等（予定）」（31ページ）をご参照ください。



## 11. 中期日程

### (1) 実施教科・科目等

- ① 個別学力検査等の「物理基礎・物理」の出題範囲については、次のとおりです。  
「物理基礎・物理」……「物理基礎」及び「物理」の全範囲から出題します。
- ② 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について
  - ア 大学入試センター試験で、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の成績を利用します。  
ただし、『「地歴」「公民」』の受験科目を1科目と指定した学科において2科目受験している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。また、「理科」の受験科目を1科目と指定した学科において2科目受験している場合は、生産システム科学科を除き、受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。  
※大学入試センター試験の『「地歴」「公民」』及び「理科②」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。
  - イ 大学入試センター試験で「数学」2科目を課す学科については、2科目の合計を表記しています。
  - ウ 大学入試センター試験の『外国語「英語」』は、筆記試験（素点200点満点）とリスニングテスト（素点50点満点）の合計点（250点）を利用します。
- ③ 大学入試センター試験で、志願する学科が課すすべての教科・科目等を受験しなければ、個別学力検査等を受験することはできません。  
また、個別学力検査等で、志願する学科が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格となります。
- ④ 各学科の教科・科目名が表示してある表の下の「大学入試センター試験の注意事項」も必ずご参照ください。

【生産システム科学部 生産システム科学科】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

試験区分		教科	科目名等	配点	合計
中期日程	〔3教科4科目〕 大学入試センター試験	数学	【1科目を選択】 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」	200	500
			【1科目を選択】 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」	(100×2)	
		理科	「物理」	100	
	外国語	「英語」(リスニングを含む)	200		
	個別学力検査等	理科	物理基礎・物理	400	400
合 計					900

大学入試センター試験の注意事項

1. 「理科」は、「物理」の成績を利用します。
2. 『外国語「英語」』は、筆記試験(素点200点満点)とリスニングテスト(素点50点満点)の合計点(250点)を傾斜配点で200点とします。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者については、筆記試験の得点(200点)をそのまま利用します。

【保健医療学部 看護学科】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

試験区分		教科	科目名等	配点	合計
中期日程	大学入試センター試験 「3教科4科目」又は「3教科5科目」	数学	【1科目を選択】 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」	100 (50×2)	400
			【1科目を選択】 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」		
		理科	【1科目を選択】 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」、「物理」、 「化学」、「生物」、「地学」 〔ただし、基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）については、2科目の受験で1科目とみなす。〕	100	
	外国語	「英語」（リスニングを含む）	200		
個別学力検査等	その他	「面接（個人）」 多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評定します。	200	200	
合 計					600

大学入試センター試験の注意事項

1. 「数学」は、2科目とも素点100点満点を傾斜配点で50点とし、合わせて100点とします。
2. 「理科」で基礎を付した科目2科目の合計、又は基礎を付さない科目（「理科②」で2科目受験している場合は第1解答科目）のうち、高得点の成績を利用します。
3. 『外国語「英語」』は、筆記試験（素点200点満点）とリスニングテスト（素点50点満点）の合計点（250点）を傾斜配点で200点とします。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者については、筆記試験の得点（200点）をそのまま利用します。

【保健医療学部 臨床工学科】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

試験区分		教科	科目名等	配点	合計
中期日程	〔3教科5科目〕 大学入試センター試験	数学	【1科目を選択】 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」	200	600
			【1科目を選択】 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」	(100×2)	
		理科	【2科目を選択】 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	200 (100×2)	
	外国語	「英語」(リスニングを含む)	200		
個別学力検査等	その他	「面接(個人)」 多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評定します。	200	200	
合 計					800

大学入試センター試験の注意事項

1. 『外国語「英語」』は、筆記試験(素点200点満点)とリスニングテスト(素点50点満点)の合計点(250点)を傾斜配点で200点とします。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者については、筆記試験の得点(200点)をそのまま利用します。

【国際文化交流学部 国際文化交流学科】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

試験区分		教科	科目名等	配点	合計
中期日程	「4教科4科目」又は「4教科5科目」 大学入試センター試験	国語	国語	150	600
		地歴 公民 数学 理科	<p>【2教科2科目を選択】</p> <p>「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」、 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」、「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」</p> <p>〔ただし、基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）については、2科目の受験で1科目とみなす。〕</p>	200 (100×2)	
		外国語	「英語」（リスニングを含む）	250	
個別学力検査等	その他	「小論文」 社会、歴史、文化、言葉等に関する日本語の文章を二つ提示し、それぞれについて文章理解に基づき日本語で論述をさせます。	300	300	
合 計					900

大学入試センター試験の注意事項

- 「国語」は、素点200点満点を傾斜配点で150点とします。
- 「地歴」、「公民」、「数学」、「理科」については、当該教科の中から得点上位の2教科2科目の成績を利用します。
  - 『「地歴」「公民」』において2科目受験している場合は、当該2科目のいずれもが得点上位（成績利用科目）となる場合を除き、第1解答科目の成績を利用します。
  - 「理科」は基礎を付した科目2科目の合計、又は基礎を付さない科目（「理科②」）で2科目受験している場合は第1解答科目のいずれかの成績を利用します。
  - 「理科」で基礎を付した科目2科目を受験している場合は、2教科3科目の成績を利用します。
- 『外国語「英語」』において、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者については、筆記試験の得点（200点）を傾斜配点で250点とします。

## (2) 採点・評価基準（個別学力検査等）

個別学力検査等では、次の点について評価等を行います。

学部	学科	教科・科目等	留意している点
生産システム科学部	生産システム科学科	物 理	物理の問題を出題し、基本概念の理解度と応用力を評価します。
保健医療学部	看護学科	面 接	医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、対人能力、論理的思考力等を評定し、それらを総合的に評価します。
	臨床工学科	面 接	思考力、判断力、表現力、協調性、積極性などを総合的に評価します。
国際文化交流学部	国際文化交流学科	小論文	日本語の理解力と表現力、論理的思考力等を総合的に判断します。

## (3) 試験期日・試験時間・試験会場

### ① 試験期日

令和2年3月9日（月）

### ② 試験時間

学 部	学 科	教科・科目等	試験時間
生産システム科学部	生産システム科学科	物 理	10：00～11：40
保健医療学部	看護学科	面 接	9：00～
	臨床工学科	面 接	9：00～
国際文化交流学部	国際文化交流学科	小論文	10：00～12：00

### ③ 試験会場

学部	学科	試験会場（予定）
生産システム科学部	生産システム科学科	小松市民センター
保健医療学部	看護学科	末広キャンパス
	臨床工学科	栗津キャンパス
国際文化交流学部	国際文化交流学科	中央キャンパス、サイエンスヒルズこまつ

ア 試験会場は、次のとおり予定しています。ただし、志願者数によっては試験会場を変更することがあります。その場合は、本学ホームページ等で通知します。

イ 試験会場の下見への対応として、令和2年3月8日（日）午後1時以降に試験会場入口に試験室案内等を掲示します。

ウ 風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、時間に十分余裕をもって試験会場にお越しください。

エ 生産システム科学部の試験会場については、中央キャンパスから試験会場までのシャトルバス（往復）を運行します。詳細は、後日、本学ホームページにてお知らせします。

#### （４）合格者発表

中期日程合格者の受験番号を次のとおり発表します。

なお、合格者には、合格通知書と入学手続要項を送付します。

【発表日時】 令和２年３月２１日（土）午後１時（予定）

【発表場所】 中央キャンパス 石川県小松市土居原町 10 番地 10

本学ホームページ <https://www.komatsu-u.ac.jp/>

※合否に関する問い合わせには応じません。

#### （５）入学手続

「入学手続要項」に従って、各種、必要書類をご提出ください。

入学手続き期間は以下のとおりです。

令和２年３月２１日（土）～３月２７日（金） ※期間内必着

※持込みの場合は、令和２年３月２７日（金）午前９時～午後５時のみ対応

#### （６）留意事項

- ① 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものととして取扱います。
- ② 一つの国公立大学に入学手続きを行った者は、それ以降にこれを取り消して他の国公立大学に入学手続きをすることはできません。追加合格者についても同様です。
- ③ 入学時に必要な経費等は、「14. 初年度学納金等（予定）」（31 ページ）を参照してください。

## 12. 個人情報の取扱い

出願及び受験に伴う個人情報は、入学者選抜以外の目的には使用しません。ただし、本学の入学者選抜の可否及び入学手続等に関する個人情報（氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限る）を、独立行政法人大学入試センターを通じて併願先の国公立大学に送達します。

## 13. 入試情報の公表

### （1）令和2年度入学者選抜試験に関する情報の公表

以下の2つの情報を本学ホームページ（<https://www.komatsu-u.ac.jp/>）で公表します。

#### 1-① 出願状況

出願期間終了後に、学部学科別に公表します。

#### 1-② 実施結果

令和2年5月以降に公表します。

### （2）令和2年度入学者選抜試験の個人成績の開示

受験者本人からの成績開示請求を受けて、不合格者に限り開示します。請求期間等に関する詳細は、下記のとおりです。

#### ① 開示請求受付期間

令和2年5月1日（金）～6月1日（月）（期間内必着）

※請求書類の提出は、郵送のみ受け付けます。

#### ② 請求方法

下記の書類を請求先まで郵送してください。

##### ア 本学所定の成績開示請求書

本学所定の様式（次ページ）を使用してください。また、前期日程と中期日程の成績の両方を請求する場合は、各日程の請求書を提出してください。

##### イ 成績開示請求する試験区分の受験票（原本）

##### ウ 返信用封筒（長形3号：120mm×235mm） 1枚

郵便切手414円分（簡易書留料金）を貼付し、請求者に確実に届く郵送先を明記してください。

#### ③ 開示内容

本学が実施した個別学力検査等の科目ごとの得点の書面による開示

### （3）開示時期

開示請求受付後、1か月を目安に開示します。

### （4）請求先

公立小松大学学生課入試係

〒923-0921 石川県小松市土居原町10番地10

TEL 0761-23-6600 E-mail nyushi@komatsu-u.ac.jp



(様式)

## 成績開示請求書

公立小松大学長 様

下記の通り、令和2年度公立小松大学入学者選抜試験の成績開示を請求します。

記

申請日	令和 年 月 日
試験区分 ※いずれかに○	前期日程 ・ 中期日程
受験学部・学科	学部 学科
本学の受験番号	
フリガナ	
氏名	
住所	出願時 〒 -
	現在 〒 -
電話番号	( )

注1 前期日程と中期日程の両方を請求する場合は、各日程の請求書を作成してください。

2 開示請求受付後、1か月を目安に返信用封筒を使用し、本学受験票とともに返送します。

## 14. 初年度学納金等（予定）

### （1）入学料※<sub>1</sub>

市内学生※ <sub>2</sub>	282,000 円
その他	423,000 円

※1 納入した入学料はいかなる理由があっても返還しません。

※2 「市内学生」とは、「入学者本人又は保護者※が、入学前年の4月1日以前から引き続き小松市内に住所を有している者」を指します。

※保護者とは、父母または主たる生計維持者をいう。

### （2）授業料

年間 585,800 円

### （3）その他

#### ① 教育実習費（生産システム科学部及び保健医療学部）

年間 50,000 円

教育研究における研究設備や実験、実習のための経費です。実習衣、教科書代等は含まれていません。

#### ② ノート型パソコンの準備について

講義で使用するノート型パソコンを授業開始時まで自己費で準備していただきます。詳細は、合格者に送付する入学手続要項でご確認ください。

## 15. お問い合わせ

月曜日から金曜日（祝日を除く）の午前9時から午後5時の間に下記までお問い合わせください。

公立小松大学 学生課入試係

〒923-0921 石川県小松市土居原町10番地10（中央キャンパス）

TEL 0761-23-6600 E-mail nyushi@komatsu-u.ac.jp

### 【不測の事態が発生した場合の情報提供について】

不測の事態により試験時間等を変更する場合は、本学ホームページ (<https://www.komatsu-u.ac.jp/>) に随時情報を掲載しますので、受験直前は特に注意して確認してください。

## 16. 試験会場等所在地略図

### (1) 公立小松大学 末広キャンパス

- ① 所在地 〒923-0961 石川県小松市向本折町へ14番地1
- ② アクセス JR小松駅から小松バス市内循環線で「小松市民病院」下車（所要時間約7分）で徒歩約3分、またはJR小松駅から徒歩約23分
- ③ 実施学部学科 （前期日程）保健医療学部 看護学科  
（中期日程）保健医療学部 看護学科

### (2) 公立小松大学 中央キャンパス

- ① 所在地 〒923-0921 石川県小松市土居原町10番地10
- ② アクセス JR小松駅（徒歩約1分）
- ③ 実施学部学科 （前期日程）国際文化交流学部 国際文化交流学科  
（中期日程）国際文化交流学部 国際文化交流学科

### (3) サイエンスヒルズこまつ

- ① 所在地 〒923-0869 石川県小松市こまつの杜2番地
- ② アクセス JR小松駅東口より徒歩3分
- ③ 実施学部学科 （中期日程）国際文化交流学部 国際文化交流学科



(4) 公立小松大学 粟津キャンパス

- ① 所在地 〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ1番地3
- ② アクセス JR粟津駅から徒歩約12分
- ③ 実施学部学科 (前期日程) 生産システム科学部 生産システム科学科  
保健医療学部 臨床工学科  
(中期日程) 保健医療学部 臨床工学科



(5) 小松市民センター

- ① 所在地 〒923-0001 石川県小松市大島町42番地3
  - ② アクセス JR小松駅から路線バスや車で約8分またはJR明峰駅より徒歩約20分
  - ③ 実施学部学科 (中期日程) 生産システム科学部 生産システム科学科
- ※試験当日、中央キャンパス（JR小松駅前）から小松市民センターまでのシャトルバス（往復）を運行しますので、そちらをご利用ください。

